

学校だより



平成 28 年 7 月 20 日(水)

NO. 5 夏休み号

尼崎市立明城小学校

尼崎市南城内 10 番地の 1 TEL06-6481-2432

お手伝いは自立につながる

校長 吉田 幸嗣

激しく雨が降る日が続いたかと思えば、じめじめと生暖かい空気が充満し息苦しくなる蒸し暑さが続きます。本日 1 学期終了の日を迎えることができました。皆様、ご協力ありがとうございました。

お手伝いを継続させる

最近「デジタルネイティブ」という言葉があるように、今の子どもたちは生まれた時からインターネットやゲーム、携帯電話にスマホなどのメディアに囲まれて育っています。例えばインターネットがあれば好きな時に分からないことを知ることができます。また、友達とつながりたいと思った時にメールや SNS で外界とつながることが瞬時にできます。しかし、便利さとは反対に自分の欲望を制御できなくなる心配もあります。欲望を制御して、物事に我慢強く取り組む子どもに育てる方法の一つとして、家族に役立つお手伝いを決め、継続することがよいとされています。

家族に貢献するお手伝い

お手伝いにもいろいろあります。内容として「毎日続けること」「時間はかからないけれど、ちょっと面倒なこと」がポイントです。

例えば、「毎朝ポストから新聞を取ってくる」「決められた曜日にゴミ出しをする」などがあります。このようなお手伝いを通して、親に感謝する気持ちが育ち、欲望を制御して我慢強い心が育まれます。大人が何でもやってあげるのではなく、お手伝いという仕事を通して、自立した大人に育てていかねばなりません。しかしお手伝いが続かない時もあります。できている時には「ありがとう」という家族の言葉がお手伝いを続けるエネルギーになります。できていない時に「どうしてやらないの!」と怒って大人がやってしまったら、子どもはお手伝いをしなくなります。そんな時は家族が困る姿を見せなければなりません。お手伝いを続けることで子どもは我慢できる心が育ってきます。また、子どもが自分で言い出したお手伝いを続けることができれば、子どもたちも満足します。

お手伝いという毎日の小さなことを積み上げていってこそ、自立した人間に成長すると思えます。

明日から夏休みが始まります。9 月には元気で、日焼けした子どもたちに会えることを楽しみにしています。また、地域の皆様には、地域での子どもたちの活動を温かく見守っていただきますようお願いいたします。